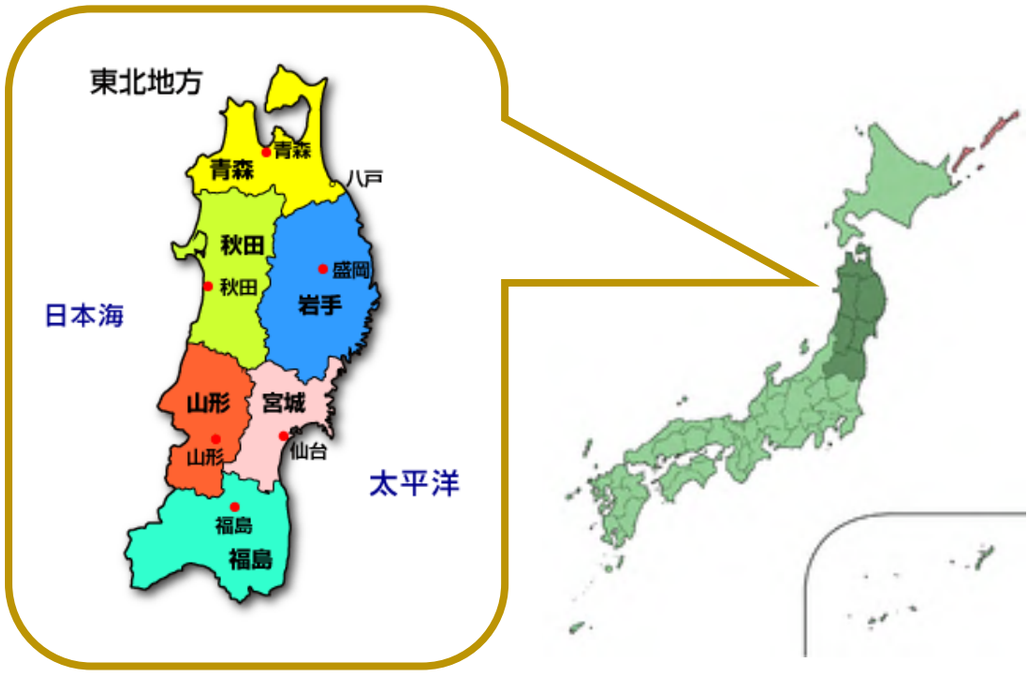
冬の東北地方へ行こう！

皆さんは、冬の東北地方へ行ったことがありますか。冬の東北は、雪がとても多くて寒いですがおいしい食べ物を食べたり、きれいな風景を見たりすることができます。東北地方は、青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県の6つの県があります。東京から新幹線「はやぶさ」に乗ると速くて便利です。



秋田県　**乳頭温泉**

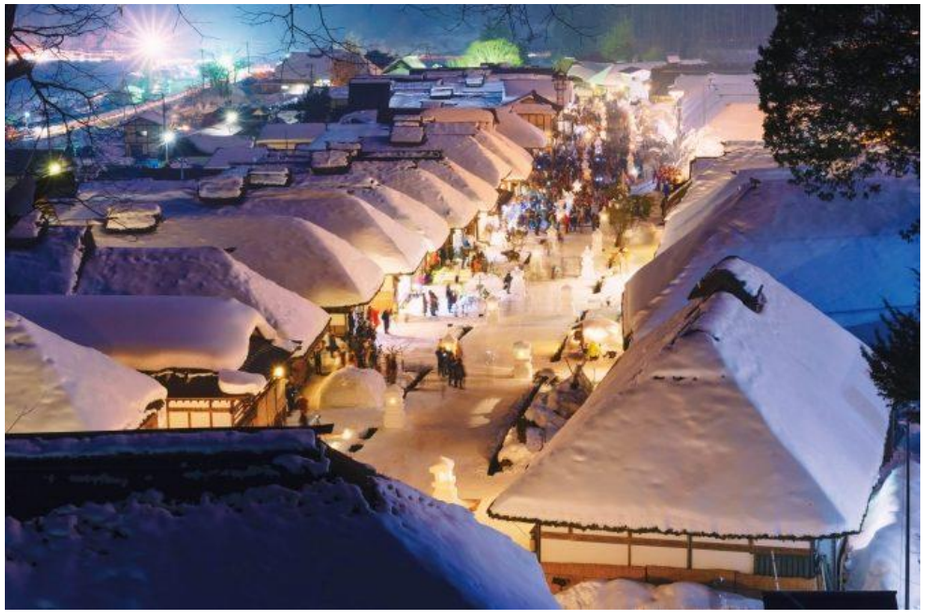
乳白色の温泉です。

宮城県

蔵王の樹氷　木に付いた氷が成長したものでスノーモンスターと言われています。とても大きいですよ。

山形県　**銀山温泉**

NHKのドラマ「おしん」の撮影場所です。



福島県　大内宿

江戸時代の建物が５００ｍくらい建っています。昔の人は、ここで休んだりお茶を飲んだりしました。

鶴ヶ城（正式名称：若松城）

秋田県　きりたんぽ鍋

ご飯をすりつぶした物（きりたんぽ）を木の棒に巻いて焼いてから鍋にいれます。

宮城県

仙台光のページェント

津軽鉄道ストーブ列車

ストーブ：暖房設備

青森県

青森県立美術館

青森県出身の奈良美智さんの作品がたくさんあります。

大間のマグロ　青森県の大間で9～12月しか食べることができません。

－〇〇の秋－

台湾では、「秋」と言っても、その言葉があるだけで、「夏の次は、冬」という印象が強いですね。しかし、日本では、秋はみんなが大好きな季節です。秋は、紅葉はもちろん、「食欲の秋」、「芸術の秋」、「読書の秋」・・・と、様々な「〇〇の秋」という言葉があります。秋は気温も高くないですから、色々な活動をするのに適した季節だと言えるでしょう。ですから、今回は滋賀県の秋の行事を紹介したいと思います。

①重要無形民俗文化財「大津祭」

まず、滋賀県の大津市で、毎年１０月に、この「大津祭」が行われます。この祭りでは、１３基の「曳山」という大きい車が巡行して、その時に、曳山からたくさんの粽が投げられます。

この粽は、台湾のようなご飯の粽じゃなくて、お餅の粽で、厄除けの意味があるそうです。この祭りは京都の祇園祭と似ていて、日本の伝統文化が感じられるお祭りです！

曳山

粽の外観

粽の中身

②近江八幡安土の「コスモス畑」

秋はコスモスの花（大波斯菊）の咲く季節としても有名です！そして、滋賀県の近江八幡安土では、２００万本ものコスモスが植えられた場所があって、多くの観光客が訪れます！他にも日本中では、コスモスの花が見られますから、ぜひ見てみてください。

③女性約１０００人が着物を来て歩く！「長浜きもの大園遊会」

最後に紹介するのは、「長浜きもの大園遊会」です！このイベントでは、全国から集まった女性約１０００人が着物を来て、長浜の市街地を歩くというイベントです。このイベントの際には、日本舞踊等も上演されて、とてもにぎわいます。日本の秋は、涼しくて着物を来ても暑く感じませんから、ぜひ日本で着物の着付けを体験してみましょう！

もみじが
紅葉狩り

秋(あき)といえば紅葉(もみじ)！という季節(きせつ)になりました。「紅葉狩(もみじが)り」について紹介(しょうかい)したいと思(おも)います。

もみじが
紅葉狩りとは？

紅葉狩(もみじが)りとは、山(やま)に出(で)かけて紅葉(もみじ)を見(み)て楽(たの)しむことです。奈良時代(ならじだい)の貴族(きぞく)たちが始(はじ)めて、江戸時代(えどじだい)から
は、一般(いっぱん)の人(ひと)たちも紅葉狩(もみじがり)りを始(はじ)めました。

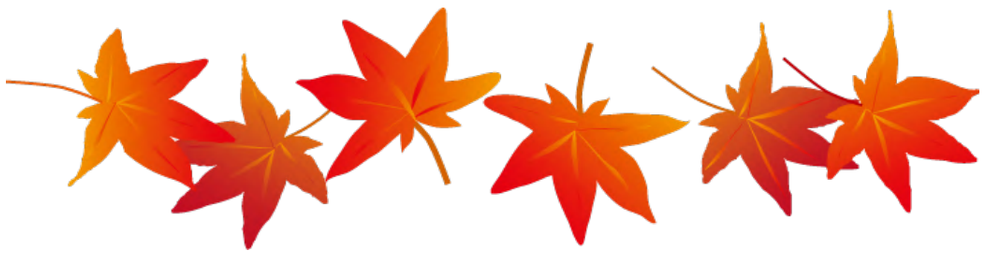
もみじが　たの　かた
紅葉狩りの楽しみ方：

①登山(とざん)：少(すこ)し涼(すず)しくなったこの季節(きせつ)は、登山(とざん)をするにはとてもいい天候(てんこう)です。歩(ある)きながら、紅葉(もみじ)の
写真(しゃしん)を撮(と)ると楽(たの)しいと思(おも)います。

②キャンプ：家族(かぞく)や友達(ともだち)と料理(りょうり)をしたり、焚(た)き火(び)をしながら、紅葉(もみじ)を楽(たの)しむのはどうですか。

おんせん　さむ　あき　もみじ　み　おんせん　はい　もみじが　みじか　きせつ
③温泉：寒くなる秋に、紅葉を見ながら、温泉に入るのはいかがですか。紅葉狩りは短い季節し

たの　とくべつ　けいけん
か楽しめないので、特別な経験になります



もみじが
紅葉狩りはいつ？

ほっかいどう　がつちゅうじゅん　がつ
北海道：9月　中　旬～10月

とうほくちほう　がつじょうじゅん　がつじょうじゅん
東北地方：10月　上　旬～11月　上　旬

かんとうちほう　がつじょうじゅん　がつじょうじゅん
関東地方：11月　上　旬～12月　上　旬

かんさいちほう　がつげじゅん　がつじょうじゅん
関西地方：11月下旬～12月　上　旬

ちゅうぶ･ほくりくちほう　がつじょうじゅん　がつじょうじゅん
中部・北陸地方：10月　上　旬～11月　上　旬

ちゅうごく･しこくちほう　がつちゅうじゅん　がつじょうじゅん
中国・四国地方：11月　中　旬～12月　上　旬

きゅうしゅうちほう　がつげじゅん　がつじょうじゅん
九州地方：11月下旬～12月　上　旬

らいねん　あき　にっぽん　い　もみじがり　たの
来年はぜひ秋に日本へ行って、紅葉狩りを楽しんでみてはいか

たいわん　ちが　あき　けいけん　おも
がですか。台湾と違う秋を経験することができると思います。

秋の果物を食べよう！

～日本の高級果物～

日本には「〇〇の秋」という言葉があります。食欲の秋・芸術の秋・読書の秋…　筆者が最も興味があるのは“食欲の秋”です。秋になると、山の食べ物は特に美味しくなります。台湾にはたくさん果物がありますが、日本の果物も負けませんよ！今回は秋が一番おいしい（旬の）果物とその果物のブランド品種を紹介します♪

①　ぶどう

秋の果物の代表！旬は、早いものは８月ごろからで、11 月ごろまでです。日本でよく食べられているのは、「巨峰」「ピオーネ」「シャインマスカット」です。本来ぶどうは種がありますが、最近は種がなくて、皮も食べられる種類が開発されて、人気があります。ぶどうがたくさんとれるのは、山梨県・長野県・岡山県です。

ナガノパープル（長野）

巨峰の１つ。皮も食べられるので、巨峰より食べやすいかもしれませんね。プレゼントにもおすすめ。ちょっと高いです。

シャインマスカット（岡山）

一番有名なマスカットですね。でも開発されたのは最近です。値段はスーパーでは 1500 円ぐらい、デパートでは 5000 円ぐらい。

②　梨

実は日本の果物の中で歴史が長いんです。日本では弥生時代（紀元前4世紀～紀元後3世紀）にはもう食べられていました。すごいですね～。旬は７月～11月ごろまでです。日本の梨は「赤梨」と「青梨」の２つがあります。梨は食感がいいですが、赤梨の方が甘くて柔らかいそうです。青梨はさっぱりしています！赤梨は千葉県・茨城県が、青梨は鳥取県が有名です。

南水（千葉・茨城・福島）

赤梨の１つ。日本のスーパーでよく見る「幸水・豊水」よりずっと甘いです。高いものは、６つ5800円程度です。

二十世紀梨（鳥取）

青梨の１つ。水分が多くて、シャリシャリしています。鳥取が名産で、二十世紀梨博物館もあります。値段は 10個で4000円程度です。

③　りんご

1年中スーパーで売っているリンゴですが、実は旬は９月～1月ごろまで。たくさんとれるのは、もちろん青森県です。日本のリンゴの60%が青森のリンゴです！そして、日本のスーパーで売っているリンゴは、ほとんど「ふじ」という種類のリンゴです。たぶん、日本人はみんな食べたことがあると思います。そのくらいスーパーにあります。安い印象のリンゴですが、もちろんブランドリンゴもありますよ。

高徳（山形・青森）

リンゴの蜜の量がすごい！栽培が難しくて、作る人が少ないので、“幻のリンゴ”と言われています。値段は 10 個 4000 円程度です。

神々の林檎（青森）

名前が強いですね。このリンゴは農薬を使っていません。そして皇室献上品です。

人生で 1 度食べてみたいですね。

いかがでしたか？台湾と比べると、高すぎますが…。産地に直接行けば、もう少し安く買えるので、行く機会があればぜひ 1 つ食べてみてください。最後に、ぶどう・梨・りんごを使ったジュースを紹介します。こちらだったら、インターネットでも買えます！ぜひどうぞ～。

ワイン？いいえ、ジュースです。

山梨果実　高級ぶどうジュース

３本セット：￥32000

りんご×ねぶた祭り

瓶：￥500　缶：￥150

贅沢二十世紀梨ジュース

180 ㎖：￥540

720 ㎖：￥2100